

Q3

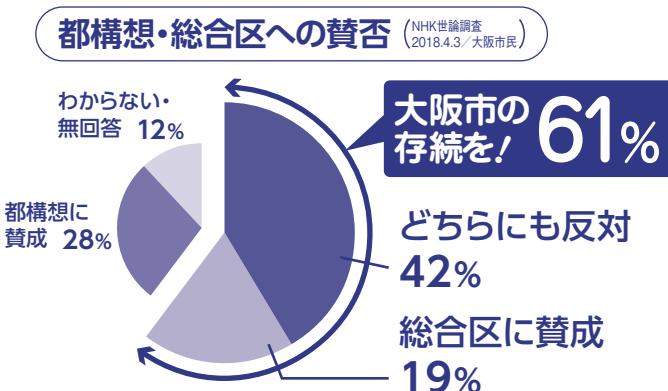
維新が宣伝する「大阪を変えた」ってどんなこと?

A

安倍政権の暴走に拍車
「身を切る改革」で
住民施策をバッサリ切り捨て

維新は「改革のイメージ」と言われますが、国会ではカジノ実施法や働き方改革など悪法推進に「何でも賛成」の立場で安倍政権の暴走に拍車をかけています。大阪を変えたどころか、住民投票で否決された「大阪都」構想にしがみつき、「敬老バス有料化」「住吉市民病院つぶし」「テスト漬けの異常な競争教育」など次々と強行しています。昨年の台風21号で甚大な被害を受けているのに、松井知事は沖縄県知事選の応援や「万博誘致」のヨーロッパ外遊を優先する無責任な態度に終始

し、カジノ誘致と巨大開発をまい進させています。



Q4

「二重行政」がムダだから「大阪都」が必要?

A

福祉や医療、教育など守るために、大阪府と市が自治体としての役割を

維新が「二重行政のムダ」を理由に廃止・統合したもののは、住民にとって必要なものはばかりです。住吉市民病院の廃止、府立大と大阪市立大の法人統合、府立公衆衛生研究所と市立環境科学研究所の統合・独法化、信用保証協会…。いったいどこが「ムダ」なんでしょうか。大学、病院、研究所に「府立」「市立」の両方があることで住民の役に立ち、何よりも必要だからです。

「二重行政解消」の財政効果はせいぜい1億円、新たに特別区を設置すると637億円ものコストが必要です。「大手前」「咲洲」にある2箇所の「二重庁舎」こそムダです。



大阪府	大阪市
障がい者交流促進センター	福祉
府立急性期・総合医療センター	医療
府立公衆衛生研究所	保健・環境
府立中央図書館	文化
府立体育会館	スポーツ
ドーンセンター	男女共同参画
マイドーム大阪	中小企業支援
府立大学	大学
	障がい者スポーツセンター
	住吉市民病院
	市立環境科学研究所
	市立中央図書館
	市立中央体育館
	クレオ大阪
	産業創造館
	市立大学